

市が実施主体となる公共交通 の検討

ふれあいバス乗継実態調査

現状のふれあいバスの課題と対応の方向性

新たな交通の導入可能性

ふれあいバス乗継実態調査

- ふれあいバスの利用者に対して、主に八街駅バス停での他の公共交通機関との乗継状況を把握するため、アンケート調査を実施した。
- 調査日 : 2020年10月16日（金）、10月17日（土）
- 調査対象 : ふれあいバス 4 コースの全便
- 調査方法 : 八街駅バス停及び八街駅周辺のバス停で乗降する利用者に対してアンケート票を配布、乗車中に回答していただき、調査員が回収を行った。

ふれあいバス乗継実態調査

□ 調査項目

- ① ふれあいバス降車後の他の公共交通機関への乗換の有無
- ② ふれあいバス乗車前の他の公共交通機関への乗換の有無
- ③ ふれあいバスの利用目的
- ④ ふれあいバスの利用頻度
- ⑤ 回答者の年齢

コース	便
バスご利用に関するアンケートを実施していますのでご協力をお願い致します。以下の各設問の、該当する箇所を指で押して折り曲げ、回答ができたなら調査員に渡してください。	
問1. <u>今回ふれあいバスを降りた後</u> 、他の公共交通機関に乗換えますか？乗換える方は、その交通機関を教えてください	
乗換えない	乗換える → 電車 路線バス 他のふれあいバス タクシー
問2. <u>今回ふれあいバスに乗る前</u> に、他の公共交通機関から乗換えましたか？乗換えた方は、その交通機関を教えてください	
電車 路線バス 他のふれあいバス タクシー	乗換えた → 乗換えなかった
問3. <u>今回の</u> ふれあいバス利用の目的は何ですか？	
通勤 通学 通院 買物 趣味 楽しみ 他	その他
問4. <u>今回の</u> 利用目的でのバス利用頻度はどの程度ですか？	
週 3回以上 週 1、2回 月 1、2回 年数回	今回が初めて
問5. あなたの年齢を教えてください	
20歳未満 20代 30代 40代 50代 60代 70歳~74歳 75歳以上	

調査結果一概要

□ 各日の便別回答者数

八街駅発／着の便ごとに集計を行った（一部便は区別なし）。※ふれあいバスの全利用者数とは一致しない。

■ 10月16日（金）

便	八街駅	北コース	東コース	西コース	南コース
朝便	着	1	2	3	7
1便	発	1	7	13	12
	着	2	3		
2便	発	0	10	5	2
	着	1		10	6
3便	発	1	1	6	1
	着	2	5	7	7
4便	発	0	6	3	5
	着	3	4	5	1
5便	発	2	9	3	3
	着	0	0	4	3
6便	発	0	1	3	8
	着	1	1	3	2
7便	発	0	2	-	5
	着		1	-	3
夕便	発	2	4	3	4
計		16	56	68	69

■ 10月17日（土）

便	八街駅	北コース	東コース	西コース	南コース
1便	発	0	2	2	8
	着	2	1		
2便	発	1	0	3	0
	着	2	4	4	7
3便	発	1	1	1	1
	着	0	0	6	4
4便	発	0	3	3	3
	着	1	4	1	3
5便	発	0	2	1	1
	着	0	0	2	2
6便	発	1	1	9	4
	着	2	2	1	0
7便	発	0	0	-	6
	着		0	-	0
計		10	20	33	39

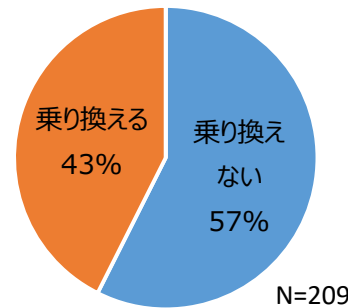
調査結果－全コース計

- ふれあいバスの降車後に他の交通機関へ乗り換える利用者は、平日が209人中89人（43%）、土曜が102人中32人（31%）であった。
- 乗り換える交通機関は、平日・土曜ともに「電車」が最も多く、次いで「他のふれあいバス」であった。

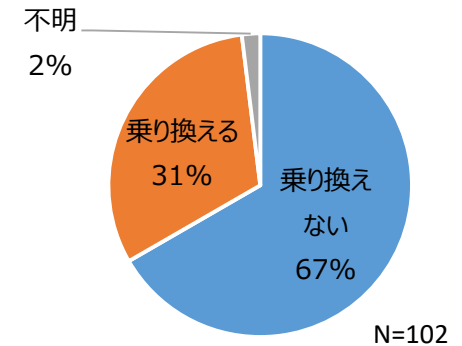
・問1_降車後、乗り換えるか

	10/16金	10/17土
乗り換えない	120	68
乗り換える	89	32
不明	0	2
計	209	102

10月16日（金）



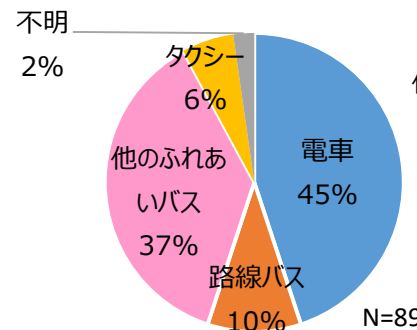
10月17日（土）



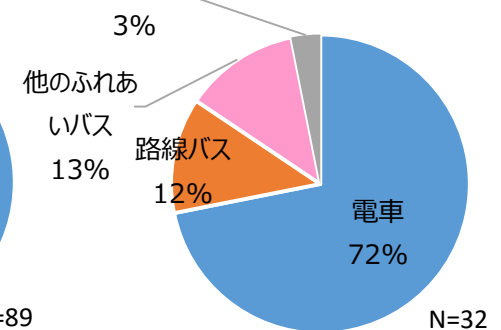
・問1-1_降車後、乗り換える場合の交通機関

	10/16金	10/17土
電車	40	23
路線バス	9	4
他のふれあいバス	33	4
タクシー	5	0
不明	2	1
計	89	32

10月16日（金）



10月17日（土）



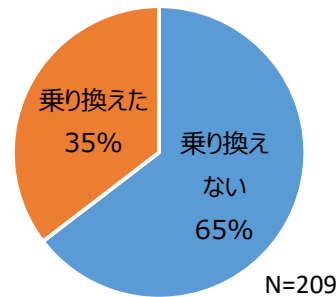
調査結果－全コース計

- ふれあいバスの乗車前に他の交通機関から乗り換えた利用者は、平日が209人中74人（35%）、土曜が102人中27人（26%）であった。
- 乗り換えた交通機関は、平日は「他のふれあいバス」が最も多く、次いで「電車」であり、土曜は「電車」が最も多く、次いで「他のふれあいバス」であった。

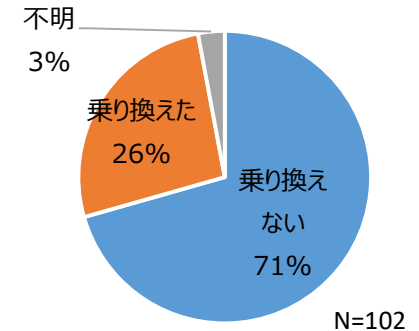
・問2_乗車前、乗り換えたか

	10/16金	10/17土
乗り換えなし	135	72
乗り換えた	74	27
不明	0	3
計	209	102

10月16日（金）



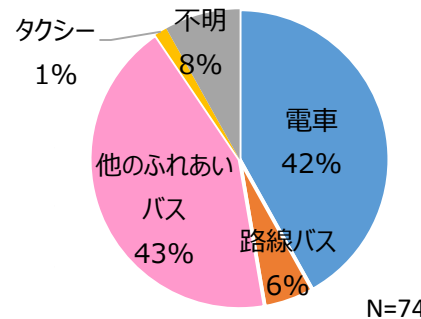
10月17日（土）



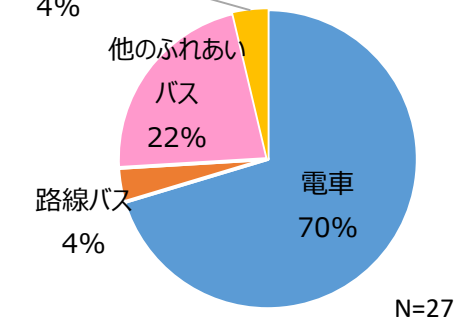
・問2-1_乗車前、乗り換えた場合の交通機関

	10/16金	10/17土
電車	31	19
路線バス	4	1
他のふれあいバス	32	6
タクシー	1	1
不明	6	0
計	74	27

10月16日（金）



10月17日（土）

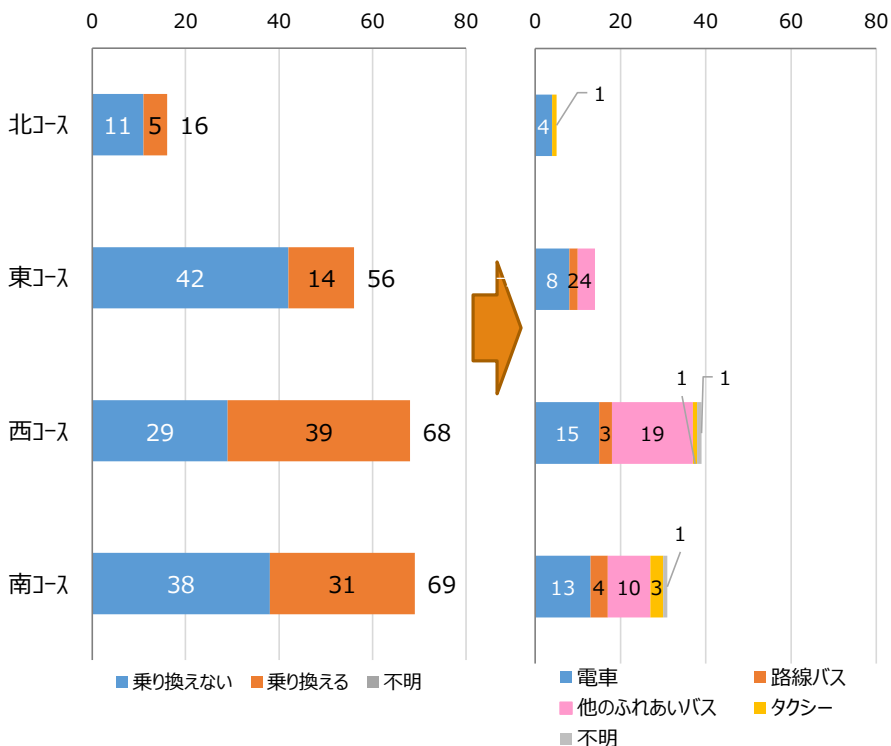


調査結果－コース別

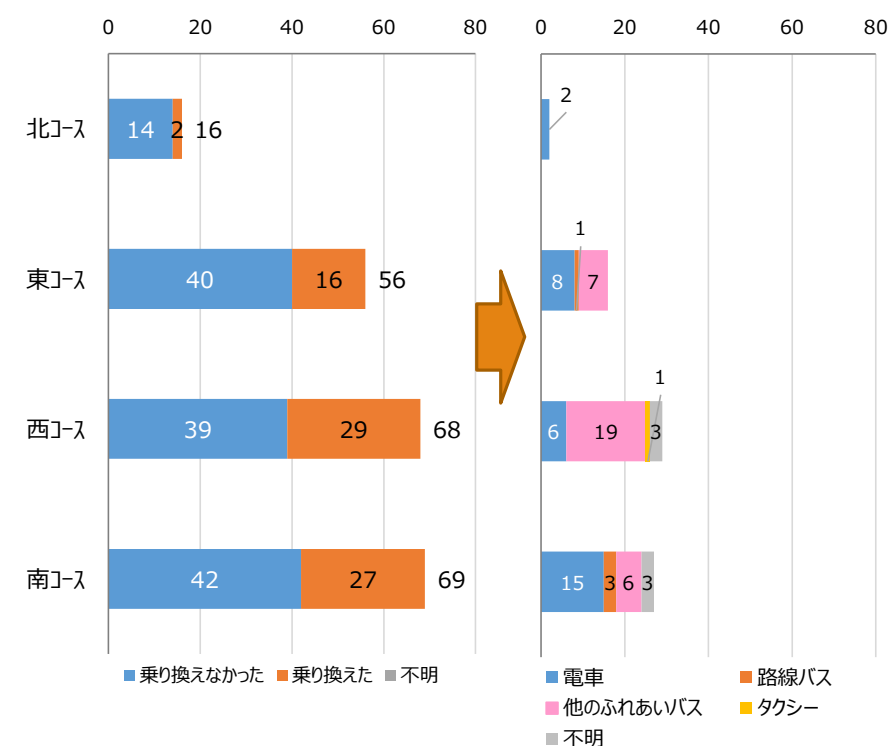
□ 10/16金

- コース別では、西コース・南コースにおいて他の交通機関への乗換が比較的多く、特に西コースでは「他のふれあいバス」との乗換利用者が多い。

(左)問1. ふれあいバス降車後、乗り換えるか
(右)その場合の交通機関



(左)問2. ふれあいバス乗車前、乗り換えたか
(右)その場合の交通機関



調査結果ーコース別・便別

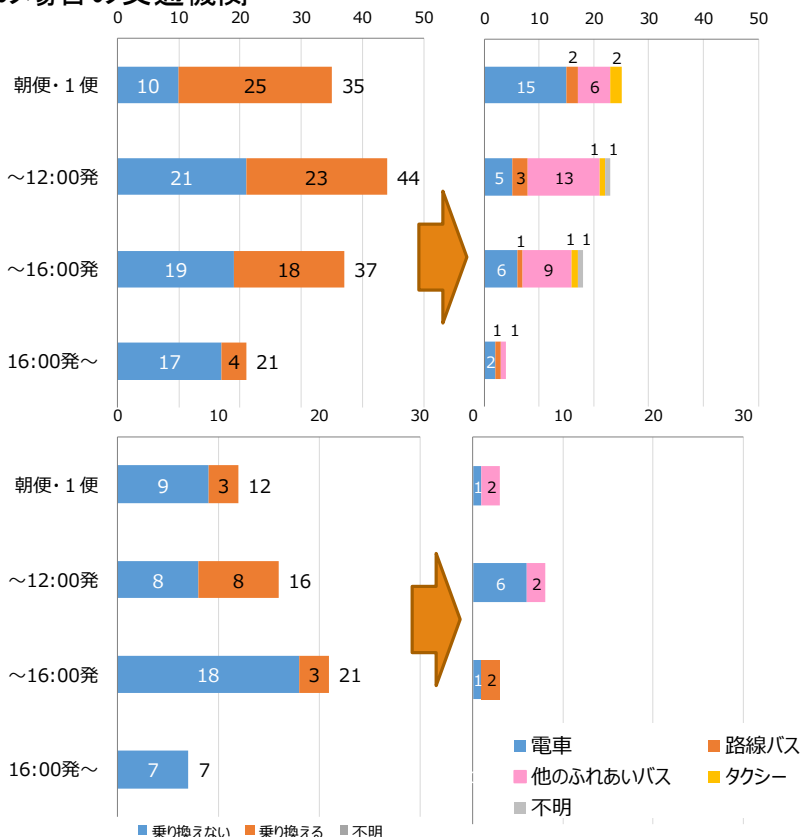
- 西コース・南コースでは、朝便・1便～八街駅16:00発便において「他のふれあいバス」との乗り換え利用者が多く、北コース・東コースを乗り継いで八街総合病院・市役所等への移動に利用されていると推察される。
- また、朝便・1便では「降車後、電車へ乗り換え」、八街駅16:00発便以降では「乗車前、電車から乗り換え」が多く、通勤に利用されていることがうかがえる。

(左)問1. ふれあいバス降車後、乗り換えるか

(右)その場合の交通機関

西コース・南コース

東コース

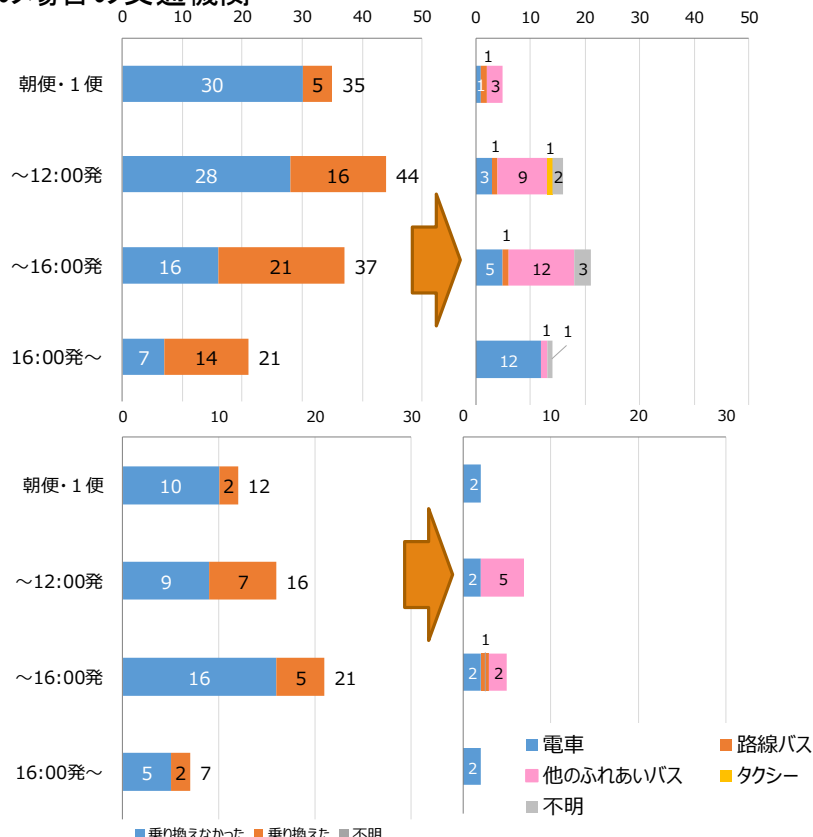


(左)問2. ふれあいバス乗車前、乗り換えたか

(右)その場合の交通機関

西コース・南コース

東コース



現状のふれあいバスの課題

- 北コース・東コースの利用者数の低下傾向であり、利用者のニーズを把握し、ニーズに合わせた運行内容の検討が必要である
 - 西コース・南コースから新八街総合病院・市役所へ行く場合、八街駅での乗り換えが前提であり、目的の便への乗り換えができない場合がある
 - 西コース、南コースでは網羅性がある一方で、長大路線となり一周にかかる所要時間が長い
- 現在のふれあいバスのダイヤ・ルートの検討の必要性

検討にあたっての考え方

- 公共施設への利便性
- 通勤・通学利用への配慮
- 運行時間の短縮・乗り継ぎ時間の確保
- 酒々井プレミアム・アウトレットへの接続の可能性
- JR、民間路線バス、おまごバスとの接続の可能性

ふれあいバスのダイヤ・ルートの見討

見討 1 ダイヤの見討

- ふれあいバスの利便性を向上させるため、他コースへの乗り換え時間を十分に確保できるダイヤを見討する

見討 2 ルートの見討

- 特に利用者数が減少傾向にある北コース、東コースに関して利便性向上のためのルート案を見討し、変更を図った場合における効果について見討する

新たな交通の導入可能性の検討

- 南西部地域において、外出支援タクシー利用の際、自己負担額が高額になるとの意見がある
- 南西部地域における移動支援を目的として、以下の交通サービス導入の可能性についての検討

案1 ふれあいバスの増車による対応

案2 高齢者外出支援タクシー制度の拡充

案3 デマンド型交通の試験運行

タクシー型の交通サービスにおいて、一定の利用者負担を設定し、残りの経費相当額を市だけで負担可能か検討する